

令和2年度 若年技能者人材育成支援等事業
実施状況(令和2年12月16日現在)

大阪府地域技能振興コーナー

事業項目	実施計画	進捗状況
I 事業費		
1. 地域における技能振興事業		
(1) 技能五輪全国大会の予選の実施等		
① 技能五輪全国大会の予選の実施	<p>多くの企業、教育訓練機関に対して、技能五輪全国大会予選の参加に向けた働きかけを行うことにより、参加者の増加など予選大会の活性化や技能尊重の気運の醸成等を図るため、以下のとおり予選大会を実施いたします 各都道府県職業能力開発協会が独自の選考基準にて推薦する職種のうち、「美容」「洋菓子製造」「西洋料理」「造園」の4職種については、技能検定とは別に予選大会として競技を行います</p> <p>【予選参加人員(目標)】</p> <p>(ア)【美容】 第1四半期 4月中旬：11名程度 (イ)【洋菓子製造】 第1四半期 4月下旬：3名程度 (ウ)【西洋料理】 第1四半期 4月下旬：3名程度 (エ)【造園】 第4四半期 2月上旬：6名程度 4職種 23名程度</p>	<p>職 種：美容 実 施 日：令和2年 6月19日 会 場：グラムール美容専門学校 参加選手：3名 競技委員：2名、競技補佐：1名</p> <hr/> <p>洋菓子製造の予選については、西洋料理と同一日に実施を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、参加希望者が集まらず中止となりました</p> <hr/> <p>職 種：西洋料理 実 施 日：令和2年 6月14日 会 場：辻学園 調理・製菓専門学校 参加選手：1名 競技委員：3名、競技補佐：1名</p> <hr/> <p>【今後の予定】 職 種：造園 実 施 日：令和3年 2月13日 会 場：大阪府立園芸高等学校 参加選手：6名 競技委員：2名、競技補佐：6名</p>

事業項目	実施計画	進捗状況
<p>② 技能五輪全国大会及び若年者ものづくり競技大会への参加支援の実施</p>	<p>技能五輪全国大会及び若年者ものづくり競技大会への参加を促進するため、「大阪府選手」のうち中小企業・教育訓練機関等に所属する参加選手とその指導者等の旅費と工具等運搬費(選手のみ)の支援を行い、中小企業等の大会への参加を促進いたします</p> <p>【支援予想人員】 (7) 技能五輪全国大会 第3四半期 11月中旬：25名程度 (4) 若年者ものづくり競技大会 第2四半期 7月下旬：10名程度 (「第57回技能五輪全国大会」、並びに「第14回若年者ものづくり競技大会」参加実績等から類推)</p>	<p>大会名：第58回技能五輪全国大会 開催日：令和2年11月13日 ～令和2年11月16日 会場：愛知県国際展示場 他 参加者：16職種：45名 支援者：選手12名/指導者等7名 入賞者：金賞 1職種：1名 銀賞 2職種：3名 銅賞 1職種：2名 敢闘賞 6職種：8名 計 9職種：14名 選手団賞：全国技能士会連合会 会長賞</p> <hr/> <p>大会名：第15回若年者ものづくり競技大会 開催日：令和2年 7月29日、30日 会場：広島県</p> <p>新型コロナウイルス等対策特別措置法に基づく緊急事態宣言が発令されたことや、感染症に関する現状を勘案して開催が中止になりました</p>
(2) ものづくりの魅力、技能者の持つ技能を伝えるための取組み		
① ものづくりマイスター、ITマスター及びそれ以外の熟練技能者の活用		
<p>(7) 「技能五輪選手実演見学会」の開催</p>	<p>この見学会は、既存技能五輪選手や過去に国際大会・全国大会に出場した五輪選手の実演、デモンストレーション等を、職種関係者・学校関係者(生徒含む)、広く一般府民等に提示し、「技能五輪」の意義をPRするとともに、「ものづくり」に対する意識啓発、技能尊重気運の高揚を目的として開催します また、見学者の要望等を踏まえ、「実演の解説」を行い実演者の高い技能への理解を深めてもらいます</p> <p>【見学会来場者数(目標)】 約300名 【実演見学会実演者数(目標)】 《旋盤》 約14名 上記1職種：第1四半期 6月開催予定 《電工》 約8名 《情報ネットワーク施工》 約7名 上記2職種：第2四半期 8月開催予定 《機械組立て》 約37名 《メカトロニクス》 約12名 《フライス盤》 約3名 《精密機器立て》 約3名 上記4職種：第2四半期 9月開催予定</p>	<p>新型コロナウイルス感染拡大の影響により、各企業から実演を行う選手が参集することで感染リスクが高まる恐れがあることや、実演会場となる企業が社外の観覧者の受け入れをしないことから中止となりました</p>

事業項目	実施計画	進捗状況
(イ)「おおさかものづくりコレクション2020」の開催	<p>身のまわりにある製品の製造に携わる人たちの技能について広く府民の方たちに紹介し、技能尊重気運の醸成や技能者の社会的地位の向上を図るとともに、若年層のものづくり離れなどの課題に対応するため、ものづくり教室及び生徒・技能士等の作品コンクール並びに技能者の実演等を実施し、ものづくりへの関心を高めるとともに身近に体感していただきます</p> <p>さらに、技能習得施設、技能評価制度、優秀な技能者等を表彰する表彰制度を紹介するなど将来のものづくり産業に従事する人材の裾野拡大につなげることを目的に「おおさかものづくりコレクション2020」を開催し、府民生活の豊かさの実現に寄与するものです</p> <p>テーマ：「技能者の裾野拡大に向けて(仮称)」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熟練技能者による製作実演、ものづくり体験教室等 ・技能士や訓練校生徒による作品コンクール ・職業訓練校生徒によるファッションショー ・無料体験コーナー（丸太切り等） ・ものづくり企業等の紹介・展示 ・ロボットゆうえんち(IT関連講演・実演) <p>【教室(職種)数】 約20教室(職種) 【受講者数】 約1,100名 【来場者数(目標)】 約8,000名 【開催時期】 第3四半期 11月(職業能力開発促進月間に開催予定)</p>	<p>開催日：令和2年11月29日 会場：マイドームおおさか 内容：熟練技能者によるものづくり体験教室 訓練校生徒の作品コンクール 技能士・訓練校生徒によるファッションショー</p> <p>教室数：13教室 受講者：85組 162名</p> <p>※今年度は、下記のような新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を十分に講じて開催いたしました</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会場を昨年度より広い会場に変更 ・体験教室の受講者を今年度は事前予約により決定された子ども(付き添いの保護者含む)のみとし、一般来場者はお断りしました ・入場受付において感染防止チェックシートの提出を求め、検温・マスク・手指消毒・追跡システム登録を確認の上、入場していただきました ・教室と教室の間にビニールカーテン、受講者の机には透明シールドを設置しました
(ウ)「職業能力開発に係る講演会」の開催	<p>優秀技能者及び職業能力開発関係者等を対象に、能力開発に関する著名な方を招いて講演会を開催します。自己啓発・人材育成・技能継承等の好事例の発表または講演を行うことにより、主体的なキャリア形成をより一層促進するとともに、人材育成に効果的な考え方・進め方等を紹介し、技能者育成を側面から支援します</p> <p>【来場者数(目標)】 約700名 【開催時期】 第3四半期 11月(職業能力開発促進月間に開催予定)</p>	<p>開催日：令和2年12月18日 開催方法：当初、エル・おおさかにおいて参集での開催を予定いたしておりましたが、昨今の新型コロナウイルス感染症拡大の状況を鑑み、リモートで開催出来るように準備を進めています</p> <p>内容：「部下や生徒をやる気にさせる仕掛学」 講師 大阪大学大学院 経済学研究科 教授 松村真宏氏</p> <p>参加者：約100名</p>

事業項目	実施計画	進捗状況
(イ) 「ものづくり体験教室」の開催	<p>大阪府内市町村教育委員会等とも連携し、府内の小中学校へ働きかけを行い、技能士・熟練技能者等を派遣して、児童・生徒に対し「技能」の魅力や「技能」の素晴らしさを実感してもらうための「ものづくり体験教室」を開催します</p> <p>帆布製品製造、フラワー装飾、日本料理 他</p> <p>【参加対象(目標)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受講者数：100名/校 ・学校数：2校(小中学校) ・受講者数：約200名 ・開催時期：第2四半期 7月から第4四半期 2月までの間で開催予定 	<p>実施日：令和2年10月29日 実施校：大阪市立茨田北中学校 職種：表装 他2職種 熟練技能者：3名、補助者：8名 ものづくり体験：生徒(2年生)：37名</p>
	<p>実施日：令和2年11月4日 実施校：大阪市立城陽中学校 職種：表装 他2職種 熟練技能者：3名、補助者：11名 ものづくり体験：生徒(2年生)：44名 教師：2名</p>	
	<p>実施日：令和2年11月13日 実施校：富田林市立喜志西小学校 職種：表装 他2職種 熟練技能者：3名、補助者：5名 ものづくり体験：生徒(5,6年生)：20名</p>	
(ロ) 市民フェア等における「ものづくり体験教室」の開催	<p>市区町村イベント等において小中学校等の児童・生徒等を対象に、ものづくりに対する興味・関心を高め、将来のものづくり産業に従事する人材の裾野拡大を目的に開催します</p> <p>【教室内容例】 上記、小中学校でのものづくり体験教室と同じ</p> <p>【受講者数】 約200名(開催回数1回) 【来場者数(目標)】 約500名 【開催時期】 第2四半期 7月から第4四半期 2月までの間で開催予定</p>	<p>新型コロナウイルス等対策特別措置法に基づく緊急事態宣言が発令されたことや、感染症拡大に関する現状を勘案して各種イベントの開催が中止となり実施が出来なくなりました</p>

事業項目	実施計画	進捗状況
(カ) 熟練技能者による技能講習の開催	<p>ものづくりマイスターの認定職種以外で生徒等を対象に熟練技能者が実技指導し、受講者とその高度な技能を習得することにより、一般の授業では行わない「ものづくり」の魅力を感じ、教員においては教科指導等に役立てていただくとともに、生徒の技能の向上に繋げるために実施します</p>	<p>実施日：令和2年10月21日 ～令和3年 1月18日間の10日 実施校：大阪府立園芸高等学校 職種：フラワー装飾(2級技能コース) 熟練技能者：1名 受講者：5名(3年生：5名)</p>
	<p>【指導職種】フラワー装飾 ・受講者数：約15名/コース ・期間：3時間/日 5日 ・学校数：1校(4コース)</p>	<p>実施日：令和2年10月21日 ～令和3年 1月18日間の10日 実施校：大阪府立園芸高等学校 職種：フラワー装飾(3級技能コース) 熟練技能者：5名 受講者：22名(3年生：2名、2年生：19名、 教員：1名)</p>
		<p>実施日：令和2年11月19日 ～令和3年 2月 8日間の5日 実施校：大阪府立園芸高等学校 職種：フラワー装飾(ベジックコース) 熟練技能者：5名 受講者：25名(1年生：25名)</p>
② 技能競技大会展の実施	<p>国が行う技能競技大会の実施内容(競技職種・実技内容等)、技能五輪国際大会と技能五輪全国大会の関係、技能五輪全国大会の開催予定を広く周知するとともに、技能競技大会のデモンストレーション、競技課題による製作物、パネル等の展示を行います</p> <ul style="list-style-type: none"> 規模：100～200名程度/回 2回 開催時期：中央技能振興センターと調整の上、決定 開催場所：地域ブロック開催府県(未定) 	<p>中央技能振興センターが 奈良県(イオンモール橿原)と 滋賀県(イオンモール草津)で 実施のため 大阪府では実施はありません</p>
③ 技能士展の実施	<p>技能士制度の普及・促進を図るため、技能検定制度、技能試験、技能士会、技能士と社会の関わり、技能士になることのメリット、技能士が企業にいることによる企業のメリット等を広く広報するとともに、技能士による製品・作品、パネル等の展示を行います</p> <ul style="list-style-type: none"> 規模：100～200名程度/回 2回 開催時期：中央技能振興センターと調整の上、決定 開催場所：地域ブロック開催府県(未定) 	<p>中央技能振興センターが 奈良県(イオンモール橿原)と 滋賀県(イオンモール草津)で 実施のため 大阪府では実施はありません</p>

事業項目	実施計画	進捗状況	
	<p>④ 技能五輪全国大会等を活用した技能の理解促進</p>	<p>技能五輪全国大会等の競技大会を高校生以上の学校関係者(生徒含む)や職種関係者等に観覧してもらい、「技能五輪全国大会」等の意義をPRするとともに、「ものづくり」に対する意識啓発、技能尊重気運の高揚を目的として技能の重要性等の理解を促進する</p> <p>技能五輪全国大会が愛知県で、若年者ものづくり競技大会が広島県で実施予定のため提案なし</p>	<p>技能五輪全国大会が愛知県若年者ものづくり競技大会が広島県で開催のため大阪府では実施いたしません</p>
	<p>⑤ 「地域発！いいもの」応募事業の実施</p>	<p>「地域発！いいもの」応援のため、「地域発！いいもの」の募集に係る周知、応援書類の受付・チェック、センターへの応募書類の送付、センターからの結果通知について応募者への送付などの業務を行います</p>	<p>周知・広報を行っていますが、現在のところ問合せ等はありません。今後も継続して広報を行っていきます。</p>
	<p>⑥ グッドスキルマーク事業の実施</p>	<p>グッドスキルマーク事業の促進のため、グッドスキルマークの募集に係る周知、応援書類の受付・チェックを行い、取りまとめたうえ、センターからの結果通知について応募者への送付などの業務を行います</p>	<p>周知・広報を行っていますが、現在のところ問合せ等はありません。今後も継続して広報を行っていきます。</p>
	<p>⑦ 卓越した技能者(現代の名工)の表彰制度の紹介コンテンツの作成支援</p>	<p>社会一般に技能尊重の気風を浸透させ、青少年が技能労働者の道に入職することを促進するため、令和元年度の卓越した技能者表彰の被表彰者を紹介するコンテンツの作成支援を行います</p>	<p>令和元年度 卓越した技能者表彰の被表彰者9名を対象に、中央技能振興センターからのデータ入力シートをメールで送信のうえ記入を依頼顔写真や作業写真も添付して回答をお願いし、取りまとめの上、中央技能振興センターへ取次ぎをしました</p>
(3) 地域における技能振興事業における職員旅費			
(4) 地域における技能振興事業における傷害保険料			

事業項目	実施計画	進捗状況
2. ものづくりマイスター等の認定、登録に関する業務		
(1) ものづくりマイスター、ITマスター及びテックマイスターの候補者に係る開拓について		
(7) ものづくりマイスターの制度周知と認定機関への取次等	ものづくりマイスター制度の周知とものづくりマイスター、ITマスター及びテックマスター候補者に係る情報収集等掘り起しを行います 対象業種の企業や学校関係等に対し広報を行うとともに、認定申請者と面談指導等を行い申請に係る認定機関への取次等を行う	<p>ものづくりマイスター(目標数21名) 本年度11月末(第1回～第3回認定)まで 9職種/10人が新規認定 累計 54職種/認定実人数 340人 認定延べ人数 400人</p> <p>【今後の予定】 ものづくりマイスター 第4回認定審査会(R2.12.8予定)に6人 第5回認定審査会(R3.1.26予定)に5人の認定申請</p> <p>ITマスター(目標数1名) 本年度11月末(第1回～第3回認定)まで 認定申請なし 累計 4職種/認定実人数 6人 認定延べ人数 15人</p> <p>【今後の予定】 ITマスター 第4回認定審査会(R2.12.8予定)に1人の認定申請中</p>
(4) 「ものづくりの魅力」の動画発信(ホームページ搭載用)	事業活用の内容をホームページ上で動画により発信、ものづくりマイスターの実技指導や地域における技能振興事業の取組みを紹介し、技能尊重気運の醸成を図り、ものづくり産業への就業意欲を持たせるよう努めます	実施に向けて調整中
(9) ものづくりマイスターに対する研修指導技法等講習	中央技能振興センター(東京)開催の「研修会」で養成された講師等が、新たに認定されたものづくりマイスターに対して指導技法等の習得・向上のための講習を行う	<p>北山氏(中央技能振興センター研修会修了者)を講師として、個人情報保護、各種ハラスメント(セクハラ・パワハラ等)、指導技法等のポイントについて認定者に講習</p> <p>【本年度11月末までに2名が受講】 第1回(R2.8.20)/受講申込が無く実施なし 第2回(R2.10.21)/受講者2人</p> <p>【今後の予定】 第3回(R3.2)に開催予定</p>
(1) ITマスターへの指導技法等講習に係る「講義ガイド」の活用に関する研修	中央技能振興センターが開催する研修で、新たに認定されたITマスターに対して指導技法等講習を実施する講師を養成し、「実技指導教材の作り方」及び「OJTによる指導の進め方」、「ITマスター講義ガイド」を用いた指導についての研修に適応者を派遣する	<p>※大阪会場での開催はなく、出席者なし ITマスター講師向け養成研修会 日 程：令和2年12月4日 会 場：A P東京八重洲</p>

事業項目	実施計画	進捗状況	
	(イ) 事例発表・意見交換会の実施	中央技能振興センターが開催する事業でものづくりマイスターが職種別に集まり、効果的な実技指導のあり方等に関する事例発表や意見交換を行い、全国のものづくりマイスターの方々に効果的な指導方法等の情報を共有し、今後の活動に活用していただくための事業にもものづくりものづくりマイスターを派遣する	中央技能振興センターが参集またはWeb方式で開催するか否かの調査中
	(カ) ものづくりマイスター等の活用における職員旅費		
3. ものづくりマイスター等の活用に係る業務			
(1) 若年技能者の人材育成に係る相談・援助等			
	若年技能者の人材育成に係る相談・援助	若年技能者の人材育成に関するニーズの把握・相談を受け、ものづくりマイスター派遣要請のあった企業・教育訓練機関等に実技指導のコーディネートを行う	
(2) ものづくりマイスター等の派遣による指導の実施			
	<p>実技指導について要請のあった企業・教育訓練機関等にもものづくりマイスターを派遣し、指導計画等の事前調整をしたのち実技指導を行う</p> <p>【活動目標】 ものづくりマイスターの活動数 5,634人日 ITマスターの活動数 200人日</p> <p>例) 1人のマイスター等が3人の受講者に対して10日間指導した場合は、 1人×3人×10日=30人日</p>	<p>【本年度11月末までの活動数】 実技指導(ものマイ) 2,218人日 実技指導(IT) 119人日 小計 2,337人日 目指せマイスタープロジェクト 小計 336人日 合計 2,673人日 ①</p> <hr/> <p>【12月以降の予定】 実技指導(ものマイ) 1,911人日 実技指導(IT) 0人日 小計 1,911人日 目指せマイスタープロジェクト 小計 117人日 合計 2,028人日 ②</p> <p style="text-align: right;">4,701人日 ①+②</p>	

事業項目	実施計画	進捗状況
(7) ものづくりマイスター、ITマスター及びテックマイスターの派遣による中小企業への技能競技大会競技課題・技能検定試験問題をベースにした実技指導	【指導対象(目標)】 ・受講者数：約2～3名/社 ・期間：3時間/日 20日間 ・企業数：中小企業 約25社 【延べ日数(人日)】 ものづくりマイスターの活動数 1名×3名×20日×25社 約1,500人日	【本年度11月末までの活動数】 延べ19社/733人日 【12月以降の予定】 延べ7社/231人日 計 延べ21社/964人日
(4) ものづくりマイスター、ITマスター及びテックマイスターの派遣による職業高校等への技能競技大会競技課題・技能検定試験問題をベースにした実技指導	【指導対象(目標)】 ・受講者数：約10名/コース ・期間：3時間/日 10日間 ・コース数：約30コース(校,系,作業別) 【延べ日数(人日)】 ものづくりマイスター等の活動数 1名×10名×10日×30コース 約3,000人日	【本年度11月末までの活動数】 延べ27校/1,485人日(ものマイ) 延べ2校/84人日(IT) 【12月以降の予定】 延べ28校/1,680人日 計 延べ40校/3,249人日
(5) ものづくりマイスター、ITマスター及びテックマイスターの派遣による職業高校等への技能競技大会競技課題・技能検定試験問題をベースにした「実技デモンストラーション」及び「体験授業」	【指導対象(目標)】 ・受講者数：約40名/クラス ・期間：3時間/日 1日 ・学校数：約8校 【延べ日数(人日)】 ものづくりマイスターの活動数 1人×40名×1日×8校 約320人日	【本年度11月末までの活動数】 延べ1校/35人日(IT) 【12月以降の予定】 現時点では関係機関からの要請はありません 計 延べ1校/35人日
(3) 「目指せマイスター」プロジェクト		
① 「ものづくりの魅力」発信		
(7) 学校の授業等への講師派遣(児童・生徒を対象)	【指導対象(目標)】 ・受講者数：約70名/校(2クラス) ・期間：2時間/日 1日 ・学校数：約10校 ・講師：ものづくりマイスター 【延べ日数(人日)】 ものづくりマイスターの活動数 1名×35名×2クラス×1日×10校 約700人日	【本年度11月末までの活動数】 延べ3校/336人日 【12月以降の予定】 延べ2校/117人日 計 延べ5校/453人日

事業項目	実施計画	進捗状況
(4) ものづくりマイスターによる講義を伴う児童・生徒を対象とした事業所等見学	<p>【指導対象(目標)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受講者数：約70名/校(2クラス) ・期 間：2時間/日 1日 ・学 校 数：約1校 ・講 師：ものづくりマイスター ・バス借上げ：約2台 約1校×平均2学級(1学年) <p>【延べ日数(人日)】</p> <p>ものづくりマイスターの活動数 1名×35名×2クラス×1日×1校 約70人日</p>	実施に向けて調整中
(5) 学校の教師、児童・生徒の保護者等を対象とした「ものづくりの魅力」発信講座等への講師派遣	<p>【指導対象(目標)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受講者数：教師約5名, 保護者約5名/校 ・期 間：2時間/日 1日 ・学 校 数：約2校 ・講 師：ものづくりマイスター <p>【延べ日数(人日)】</p> <p>ものづくりマイスターの活動数 1名×10名×1日×2校 約20人日</p>	実施に向けて調整中
②「ITの魅力」発信		
(7) 学校の授業等への講師派遣(児童・生徒を対象)	<p>【指導対象(目標)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受講者数：約40名/クラス ・期 間：3時間/日 1日 ・学 校 数：約5校 ・講 師：ITマスター <p>【延べ日数(人日)】</p> <p>ITマスターの活動数 1名×40名×1日×5校 約200人日</p>	実施に向けて調整中

事業項目	実施計画	進捗状況
③ その他、若者に対する「ものづくりの魅力」発信		
(7) 地域若者サポートステーション事業の支援対象者	<p>【指導対象(目標)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受講者数：約3～4名/機関 ・期間：2時間/日 1日 ・機関数：約5機関 ・講師：ものづくりマイスター <p>【延べ日数(人日)】</p> <p>ものづくりマイスターの活動数 1名×4名×1日×5機関 約20人日</p>	実施に向けて調整中
(4) ものづくりマイスターの働く職場での職場体験実習の実施要請等	<p>【指導対象(目標)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受講者数：1名/事業所 ・期間：3時間/日 2日間 ・機関数：約2事業所 ・講師：ものづくりマイスター <p>【延べ日数(人日)】</p> <p>ものづくりマイスターの活動数 1名×1名×2日×2事業所 約4人日</p>	実施に向けて調整中
(4) ものづくりマイスター等の活用事業における職員旅費		
(5) ものづくりマイスター等の活用事業における傷害保険料		

事業項目	実施計画	進捗状況
4. 地方公共団体、経済団体等との連携会議の設置・運営		
(1) 連携会議の設置		
① 連携会議の設置	<p>大阪府・経済団体・労働局等をメンバーとした地域技能振興コーナー(技能振興課)主催の連絡会議を設置し、メンバーの意見を取り入れ、推進計画や実施計画の策定、地域の産業特性や就業構造を踏まえた技能振興の取組や事業実施に当たっての連携・協力の在り方の検討、並びに事業の進捗管理を実施します</p> <p>連携会議の開催回数 連携会議は年2回開催し、年度当初に実施計画書を踏まえた、ものづくりマイスター等の派遣や技能振興の取組、事業実施に当たっての連携・協力の在り方の決定、年末に当年度の実施状況等の報告を行い、とりまとめ後、センターに速やかに報告します</p>	<p>※新型コロナウイルス等対策特別措置法に基づく緊急事態宣言が出されたことにより 参集での開催は中止いたしました 開催方法：会議資料配布による開催 議 題：平成31年度(令和元年度) 若年技能者人材育成支援等事業 実施結果について 令和2年度 若年技能者人材育成支援等事業 推進計画について</p> <p>開催日：令和2年12月16日 会 場：大阪科学技術センター 議 題：令和2年度 若年技能者人材育成支援等事業 事業実施状況及び次年度に向けた 改善事項等について</p>
5. 全国斉一的な事業展開		
(1) 全国会議等の開催によるセンターとコーナー間の連携の強化等		
① 全国会議の開催等によるセンターとコーナー間の連携の強化等	<p>センターが主催する都道府県コーナー職員が一堂に会する全国会議の開催などにより、本事業の円滑な業務指導の実施、業務調整等を図り全国斉一的な事業展開ができるよう対応します</p>	<p>※新型コロナウイルス等対策特別措置法に基づく緊急事態宣言が出されたことにより 参集での開催は中止となりました 【全国会議】 開 催 日：令和2年 4月22日 開催方法：会議資料配布による開催 内 容：令和2年度の事業進捗状況について 令和2年度事業における事業実施状況 等について</p> <p>【コーナー職員会議】 開 催 日：令和2年10月21日 開催方法：会議資料配布による開催 内 容：令和2年度の事業進捗状況について 令和2年度事業における事業実施状況 等について</p>